



2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日
東

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131
 定時株主総会開催予定日 2019年12月19日 配当支払開始予定日 2019年12月20日
 有価証券報告書提出予定日 2019年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期の連結業績(2018年10月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	31,013	△2.3	283	△3.2	329	△1.1	221	△27.6
2018年9月期	31,730	2.8	292	44.5	333	37.2	305	128.9

(注) 包括利益 2019年9月期 138百万円(△63.6%) 2018年9月期 380百万円(29.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	236.30	—	4.2	2.2	0.9
2018年9月期	326.18	—	5.9	2.2	0.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	14,751	5,362	36.2	5,693.08
2018年9月期	15,526	5,308	34.0	5,637.31

(参考) 自己資本 2019年9月期 5,336百万円 2018年9月期 5,284百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	△765	△142	△14	596
2018年9月期	334	121	△208	1,519

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期	—	0.00	—	90.00	90.00	84	27.6	1.6
2019年9月期	—	0.00	—	90.00	90.00	84	38.1	1.6
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00		39.2	

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,750	1.8	180	15.5	200	14.8	125	12.5	133.36
通期	31,700	2.2	316	11.6	355	7.7	215	△2.9	229.38

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年9月期	960,000株	2018年9月期	960,000株
2019年9月期	22,677株	2018年9月期	22,677株
2019年9月期	937,323株	2018年9月期	937,378株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年9月期の個別業績（2018年10月1日～2019年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	24,337	△1.1	276	△11.1	318	△8.4	213	△2.0
2018年9月期	24,611	5.8	310	24.3	347	21.1	218	△0.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年9月期	228.09		—					
2018年9月期	232.82		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	11,704	5,259	44.9	5,610.97
2018年9月期	12,507	5,215	41.6	5,564.01

(参考) 自己資本 2019年9月期 5,259百万円 2018年9月期 5,215百万円

2. 2020年9月期の個別業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,400	2.4	180	△0.4	115	△1.6	122.69
通 期	25,000	2.7	340	6.9	205	△4.1	218.71

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(6) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善が継続し、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中間の貿易摩擦が世界経済に与える影響や日韓関係の悪化、中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

しかしながら、前年同期と比べ、売上高は、310億13百万円と7億16百万円(△2.3%)の減収、営業利益は、2億83百万円と9百万円(△3.2%)の減益、経常利益は、3億29百万円と3百万円(△1.1%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期に固定資産売却益があった影響もあり、2億21百万円と84百万円(△27.6%)の減益となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業の低稼働が大きく影響し、前年同期を下回りました。また、同関連機器は、前年同期に大学への大型分析機器の案件があったため前年同期を下回りました。この結果、売上高は、全体で148億64百万円と5億31百万円(△3.5%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、12億58百万円と62百万円(△4.8%)の減益となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、新規採用などがあったものの競争激化や検体検査数の減少などにより前年同期を下回りました。また、同関連機器は、新規採用などで前年同期を上回りました。この結果、売上高は、全体で122億70百万円と1億50百万円(△1.2%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、11億49百万円と47百万円(△4.0%)の減益となりました。

(食品)

食品は、消耗品が増加したものの原料不足による製造量減少などにより、前年同期を下回りました。この結果、売上高は、33億40百万円と11百万円(△0.3%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、2億64百万円と13百万円(△4.9%)の減益となりました。

(その他)

その他は、夏場の好天により病虫害の発生が少なく農薬需要の減少などにより、前年同期を下回りました。この結果、売上高は、5億38百万円と22百万円(△4.0%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、リベートの増加などで85百万円と16百万円(23.7%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、7億75百万円減少し、147億51百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、8億29百万円減少し、93億89百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、54百万円増加し、53億62百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、97億20百万円(前連結会計年度は、103億87百万円)となり、6億66百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億42百万円増加したものの現金及び預金が9億17百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、50億30百万円(前連結会計年度は、51億39百万円)となり、1億8百万円減少しました。これは主に、建物及び構築物が1億89百万円増加したものの建設仮勘定が1億45百万円、投資有価証券が73百万円及びリース投資資産が68百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、82億65百万円(前連結会計年度は、90億21百万円)となり、7億56百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が7億48百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、11億23百万円(前連結会計年度は、11億96百万円)となり、72百万円減少しました。これは主に、リース債務が95百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、53億62百万円(前連結会計年度は、53億8百万円)となり、54百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金85百万円減少したものの利益剰余金が1億37百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、5億96百万円と前連結会計年度末に比べ9億22百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果支出した資金は、7億65百万円(前連結会計年度は3億34百万円の取得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3億35百万円があったものの仕入債務の減少額7億56百万円及び売上債権の増加額2億19百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果支出した資金は、1億42百万円(前連結会計年度は1億21百万円の取得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出90百万円及び投資有価証券の取得による支出45百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において財務活動の結果使用した資金は、14百万円(前連結会計年度は2億8百万円使用)となりました。これは主に、借入れによる収入1億29百万円あったものの配当金の支払額84百万円及びリース債務の支払による支出59百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
自己資本比率	34.0	36.0	33.4	34.0	36.2
時価ベースの自己資本比率	18.6	17.7	19.7	21.7	19.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	△40.0	△3.3	0.9	3.7	△1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	△5.0	△72.2	326.8	172.5	△361.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジレシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

わが国経済は、個人消費は横ばいで推移したものの政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより企業収益や雇用情勢は改善がみられ、穏やかな回復基調となりました。一方、米国新政権の政策動向、新興国経済の停滞や地政学的なリスクなどにより、依然として先行き不透明な状況が続いておりました。

当社グループといたしましては、今後とも化学工業・医療の進歩に寄与するという専門商社としての使命を自覚し、積極的な営業方針のもと、高度化・多様化するユーザーニーズにきめ細かく応えていく所存であります。

次期の業績見通しは、前連結会計年度と比べ売上高が、317億円と6億86百万円(2.2%)の増収、営業利益が、3億16百万円と32百万円(11.6%)の増益、経常利益が、3億55百万円と25百万円(7.7%)の増益、親会社に帰属する当期純利益が、2億15百万円と6百万円(△2.9%)の減益を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対して継続的な安定配当を維持していくことを経営の重要政策として位置づけており、今後とも株主利益率の向上を図る方針であります。また、更なる利益追求によって、株主に応えてまいります。

内部留保金につきましては、今後の事業展開に対応した財務体質の強化を図り事業拡大に努めるよう有効に活用してまいります。

当期の配当金につきましては、上記方針に従い普通配当として1株につき90円(期末配当90円)の配当を実施することといたしました。

次期の配当金につきましては、上記方針に従い普通配当として1株につき90円(期末配当90円)の配当を予定しております。

(6) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,616,155	698,640
受取手形及び売掛金	7,385,170	7,627,666
電子記録債権	162,256	138,511
商品	865,535	849,929
リース投資資産	133,850	132,959
その他	225,315	274,234
貸倒引当金	△1,137	△1,134
流動資産合計	10,387,147	9,720,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,653,425	1,752,646
減価償却累計額	△1,332,555	△1,242,052
建物及び構築物(純額)	320,869	510,593
土地	1,498,379	1,498,379
リース資産	429,257	447,169
減価償却累計額	△299,642	△338,199
リース資産(純額)	129,615	108,970
その他	439,583	453,865
減価償却累計額	△143,266	△144,921
その他(純額)	296,316	308,943
建設仮勘定	145,900	—
有形固定資産合計	2,391,081	2,426,887
無形固定資産		
リース資産	55,617	41,712
ソフトウェア	721	731
電話加入権	6,718	6,718
無形固定資産合計	63,057	49,162
投資その他の資産		
投資有価証券	1,434,809	1,360,829
リース投資資産	448,137	379,659
差入保証金	731,046	738,328
その他	91,950	93,548
貸倒引当金	△20,635	△17,687
投資その他の資産合計	2,685,308	2,554,678
固定資産合計	5,139,447	5,030,728
資産合計	15,526,594	14,751,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,763,495	7,015,483
電子記録債務	226,262	220,260
短期借入金	415,000	474,000
1年内返済予定の長期借入金	28,800	39,080
リース債務	192,522	181,932
未払法人税等	73,240	77,301
賞与引当金	56,400	53,450
その他	266,278	204,021
流動負債合計	9,021,998	8,265,528
固定負債		
長期借入金	24,800	84,530
リース債務	583,983	488,333
繰延税金負債	253,114	197,633
退職給付に係る負債	77,297	92,769
役員退職慰労引当金	189,668	199,249
その他	67,551	61,171
固定負債合計	1,196,414	1,123,688
負債合計	10,218,413	9,389,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	3,030,395	3,167,522
自己株式	△52,634	△52,634
株主資本合計	4,679,261	4,816,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	613,727	528,156
退職給付に係る調整累計額	△8,925	△8,286
その他の包括利益累計額合計	604,802	519,869
非支配株主持分	24,117	26,061
純資産合計	5,308,181	5,362,319
負債純資産合計	15,526,594	14,751,536

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	31,730,563	31,013,852
売上原価	28,864,997	28,256,343
売上総利益	2,865,565	2,757,509
販売費及び一般管理費	2,572,947	2,474,301
営業利益	292,618	283,207
営業外収益		
受取利息	4,527	4,176
受取配当金	24,697	28,474
受取手数料	10,289	11,049
その他	5,241	6,067
営業外収益合計	44,756	49,767
営業外費用		
支払利息	1,941	2,116
支払手数料	1,419	1,197
その他	726	41
営業外費用合計	4,086	3,355
経常利益	333,288	329,620
特別利益		
固定資産売却益	141,022	—
投資有価証券売却益	6,134	—
投資事業組合運用益	1,793	5,629
特別利益合計	148,950	5,629
特別損失		
固定資産除却損	355	119
投資有価証券評価損	399	—
減損損失	8,034	—
特別損失合計	8,789	119
税金等調整前当期純利益	473,449	335,130
法人税、住民税及び事業税	128,221	131,612
法人税等調整額	18,356	△19,943
法人税等合計	146,577	111,668
当期純利益	326,871	223,461
非支配株主に帰属する当期純利益	21,117	1,976
親会社株主に帰属する当期純利益	305,754	221,485

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益	326,871	223,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,478	△85,571
退職給付に係る調整額	4,157	638
その他の包括利益合計	53,635	△84,932
包括利益	380,506	138,529
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	359,681	136,585
非支配株主に係る包括利益	20,825	1,943

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	820,400	881,100	2,795,096	△52,230	4,444,366	564,249	△13,082	551,166	3,291	4,998,825
当期変動額										
剰余金の配当			△70,307		△70,307					△70,307
親会社株主に帰属する当期純利益			305,754		305,754					305,754
自己株式の取得				△403	△403					△403
その他			△147		△147					△147
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						49,478	4,157	53,635	20,825	74,461
当期変動額合計	—	—	235,299	△403	234,895	49,478	4,157	53,635	20,825	309,356
当期末残高	820,400	881,100	3,030,395	△52,634	4,679,261	613,727	△8,925	604,802	24,117	5,308,181

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	820,400	881,100	3,030,395	△52,634	4,679,261	613,727	△8,925	604,802	24,117	5,308,181
当期変動額										
剰余金の配当			△84,359		△84,359					△84,359
親会社株主に帰属する当期純利益			221,485		221,485					221,485
自己株式の取得										
その他										
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△85,571	638	△84,932	1,943	△82,988
当期変動額合計	—	—	137,126	—	137,126	△85,571	638	△84,932	1,943	54,137
当期末残高	820,400	881,100	3,167,522	△52,634	4,816,388	528,156	△8,286	519,869	26,061	5,362,319

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	473,449	335,130
減価償却費	90,400	93,344
減損損失	8,034	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	399	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,134	—
固定資産売却損益 (△は益)	△141,022	—
固定資産除却損	355	119
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1,793	△5,629
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21,173	△2,951
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,285	△2,950
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,730	16,401
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,020	9,581
受取利息及び受取配当金	△29,225	△34,280
支払利息	1,941	2,116
売上債権の増減額 (△は増加)	78,652	△219,666
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,456	15,606
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,029	△756,403
その他	11,727	△119,479
小計	462,043	△669,061
利息及び配当金の受取額	29,222	34,277
利息の支払額	△1,941	△2,116
法人税等の支払額	△154,563	△128,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	334,761	△765,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△340,856	△90,305
有形固定資産の売却による収入	455,500	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,440
投資有価証券の取得による支出	△22,812	△45,291
投資有価証券の売却による収入	12,336	—
投資事業組合からの分配による収入	17,050	3,470
定期預金の預入による支出	△11,000	△107,403
定期預金の払戻による収入	11,000	102,196
貸付けによる支出	△4,000	△500
貸付金の回収による収入	670	530
保険積立金の積立による支出	—	△3,110
保険積立金の解約による収入	3,541	—
その他	497	△896
投資活動によるキャッシュ・フロー	121,925	△142,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,240,000	6,190,080
短期借入金の返済による支出	△4,288,500	△6,120,800
長期借入れによる収入	—	85,720
長期借入金の返済による支出	△28,800	△25,990
自己株式の取得による支出	△403	—
リース債務の返済による支出	△60,817	△59,602
配当金の支払額	△70,334	△84,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,855	△14,904
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	247,831	△922,722
現金及び現金同等物の期首残高	1,271,330	1,519,161
現金及び現金同等物の期末残高	1,519,161	596,438

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、化学工業薬品・化学工業薬品関連機器、臨床検査試薬・臨床検査試薬関連機器、食品・食品関連機器、農業資材・農業資材関連機器の販売を行っており、商品別に営業グループを置き、各営業グループは、取扱う商品について戦略を立案し、営業活動を展開しております。従いまして、当社の報告セグメントは「化学工業薬品」「臨床検査試薬」「食品」「その他(農業資材)」から構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

なお、当社グループでは事業セグメントへの資産の配分は行っておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,396,457	12,421,143	3,352,101	560,860	31,730,563	—	31,730,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,396,457	12,421,143	3,352,101	560,860	31,730,563	—	31,730,563
セグメント利益	1,321,356	1,197,195	277,837	69,176	2,865,565	—	2,865,565

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,864,478	12,270,343	3,340,517	538,513	31,013,852	—	31,013,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,864,478	12,270,343	3,340,517	538,513	31,013,852	—	31,013,852
セグメント利益	1,258,465	1,149,379	264,119	85,545	2,757,509	—	2,757,509

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載は省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載は省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	5,637円31銭	5,693円08銭
1株当たり当期純利益	326円18銭	236円30銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2 2018年4月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び普通株式の期中平均株式数を算定しております。
 3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	305,754	221,485
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	305,754	221,485
普通株式の期中平均株式数(株)	937,378	937,323

(重要な後発事象)

該当事項はありません。